

平成 20 年度厚生労働省 老人保健健康増進等事業

認知症介護指導者の安定的な確保と
効果的な活動のあり方に関する研究事業

報 告 書

平成 21 年 3 月

社会福祉法人 浴 風 会
認知症介護研究・研修東京センター

はじめに

認知症介護の質の向上を目指して、平成13年度より国の認知症介護研修事業として認知症介護実践研修（実践者研修ならびに実践リーダー研修、ただし、平成16年度までは認知症介護実務者研修基礎課程・専門課程）が実施されてきた。この研修は地域密着型サービスを行う際の介護保険事業者の指定要件にもなっている。この認知症介護実践研修の企画・運営、さらに地域における認知症介護のスーパーバイザーとしての役割を担う人材、すなわち認知症介護指導者を養成するために、同じく平成13年度より認知症介護指導者養成研修が行われてきたが、平成19年度までに認知症介護指導者の人数が1000人を上回った。このような背景を踏まえるとともに、今後も認知症の利用者が日本において増加し続けていくこと、認知症介護のサービス形態の多様化や認知症介護におけるさまざまな課題が山積していることを鑑みると、各都道府県政令市には今後も認知症介護指導者を安定的に確保していくことと認知症介護指導者の効果的な活用が求められる。

そこで、本研究事業では、①認知症介護指導者が企画・運営している認知症介護実践研修（実践者研修ならびに実践リーダー研修）の効果の検証を行うこと、②各都道府県政令市が認知症介護指導者を安定的に確保できるための、認知症介護指導者養成研修における効果的なカリキュラム開発をすること、③認知症介護における現状と課題を適切に把握し、それらの解決を目指して認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発を行うことを目的とする。

認知症介護指導者の安定的な確保と
効果的な活動のあり方に関する研究事業 報告書 目次

はじめに

下部研究

認知症介護実践者研修の効果の検証…………… 1

第1章 研究の枠組み…………… 1

第2章 研究結果…………… 2

第3章 考察…………… 11

図表…………… 15

下部研究 2

認知症介護指導者の安定的な確保のための効果的な研修カリキュラムの開発 …… 83

第1章 認知症介護指導者養成研修新カリキュラムの作成…………… 83

第2章 認知症介護実践研修等事業都道府県等担当者研修会…………… 86

下部研究 3

これからの認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発 …… 93

第1章 b e i n g ブロック会視察…………… 93

第2章 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修…………… 95

巻末資料…………… 105

実践研修効果測定調査票…………… 107

委員名簿…………… 134